

問 診 票

記載者氏名() 続柄() 記載日 令和__年__月__日
受診者名() 男・女 生年月日 平成__年__月__日 満__歳
学校名 () () 学年
* 現在最もお困りのことは何ですか： * それはいつ頃からお気づきでしたか：
* ご家族のことについてお書きください。 父 (歳) 氏名 () 健康・病気・別離・死亡 (いつ:) 職業() 最終学歴 () 出身地 () 性格 : 母 (歳) 氏名 () 健康・病気・別離・死亡 (いつ:) 職業() 最終学歴 () 出身地 () 性格 : 父方祖父 (歳) 健康・病気・死亡 母方祖父 (歳) 健康・病気・死亡 祖母 (歳) 健康・病気・死亡 祖母 (歳) 健康・病気・死亡 兄弟姉妹 : 本人を含めてお書きください。亡くなられた方もお書きください。 <div style="text-align: center;"> 学年 性格その他 </div> 1. 男・女 歳 2. 男・女 歳 3. 男・女 歳
* 家族、親族で下記の項目について当てはまるものに○をつけてください。 知的障害 (ない・ある) 発達障害 (ない・ある) 言葉の遅れ(ない・ある) てんかん (ない・ある) 身体障害 (ない・ある) 精神疾患 (ない・ある) 脳性麻痺 (ない・ある) その他の先天性疾患 (ない・ある)

* 健診で指摘されたことや相談したことはありますか

4か月児健診 : はい・いいえ (内容:)

10か月児健診 : はい・いいえ (内容:)

1歳6か月児健診 : はい・いいえ
(内容:)

3歳児健診 : はい・いいえ
(内容:)

【幼児期の様子】 * 学齢期以上のお子さんの場合は思い出してお書きください。

- 1 親から平気ではなれたり、頻回に迷子になったりしますか はい・いいえ
- 2 視線が合わないことはありますか はい・いいえ
- 3 名前を呼んでも気付かないことはありますか はい・いいえ
- 4 言葉の遅れはありますか はい・いいえ
- 5 オウム返しはありますか はい・いいえ
- 6 奇妙な動作やしぐさはありますか はい・いいえ
(どのような動作やしぐさですか)
- 7 こだわりがありますか はい・いいえ
(どのようなこだわりですか)
- 8 興味・関心が強いことはありますか はい・いいえ
(何に対してですか)
- 9 多動傾向はありますか はい・いいえ
- 10 保育所・幼稚園で集団参加はできますか はい・いいえ
(できない場面)

【園でよく指摘されたことがあればお書きください】

【幼児期に通った機関、相談した機関・人(園以外:医療機関、保健センター、通園施設、療育教室など)】

○年○月～○年○月	通った機関、相談した機関・人

【幼児期に通った幼稚園、保育所】 転園につきましてもお書きください。

〇年〇月～〇年〇月	通った機関	クラスの数 (概数)	担任の数 (加配の有無)	送迎方法

【その他、幼児期に気になったことがあれば、自由にお書きください。】

【学齢期の様子】 * 過去のこと、現在のこと両方について当てはまるものに○をつけ、必要に応じて追加事項をお書きください。

- 1 授業に参加できていますか できていた・できている・できていない
(参加できない授業)
- 2 授業中に出歩くことはありますか あった・ある・ない
- 3 授業中に騒ぐことはありますか あった・ある・ない
- 4 友達とのトラブルは多いですか 多かった・多い・少ない
- 5 得意な教科はありますか ある・ない
(教科名)
- 6 苦手な教科はありますか ある・ない
(教科名)
- 7 書字の問題はありますか ある・ない
- 8 読字の問題はありますか ある・ない
- 9 計算の問題がありますか ある・ない
- 10 会話の問題がありますか ある・ない
- 11 視力や聴力の問題はありますか ある・ない
- 12 学校でこれらの学習の問題は大体何歳頃から気になり始めましたか ()歳位
(きっかけ)
- 13 奇妙な動作やしぐさはありますか ある・ない
(どのような動作やしぐさですか)
- 14 こだわりがありますか ある・ない
(どのようなこだわりですか)
- 15 興味・関心が強いことはありますか ある・ない
(何に対してですか)
- 16 集団活動での問題がありますか ある・ない
(内容)
- 17 対人関係の問題はありますか ある・ない
(内容)
- 18 家庭内での問題がありますか ある・ない
(自傷・他害・飛び出し・破壊・睡眠障害・強いこだわり・情緒不安定・感覚過敏・その他)
(その他の内容)

【学校でよく指摘されたことがあればお書きください】

【学齢期に通った教育機関(通常学級、通級、特別支援学級、特別支援学校、適応指導教室等)】

○年○月～ ○年○月	通った学校	学級の人数 (概数)	担任の人数	通学方法

【学齢期に通った機関、相談した機関・人(医療機関、カウンセラー、習い事、放課後児童クラブ等)】

○年○月～○年○月	通った機関、相談した機関・人

【その他学齢期に気になったことがあれば、自由にお書きください】

【感覚の特徴】現在の状態について、例の中に当てはまるものがあれば○をつけ、必要に応じて追加事項をお書きください。

1 触覚(さわる)の問題はありますか (ある・ない)

例：特定の服しか着ない(肌触りにこだわるなど)、濡れた服をすぐ脱ぐ、ブラシで髪をとかすことが苦手、特定のものしか食べない、冷めると食べない、流水や砂などをずっと触っている、けがをしても痛がらない、軽い接触には反応しない、抱きしめられることが好き等の触感、圧迫感、硬さ、柔らかさ、鋭さ、鈍さ、暑さ、冷たさ、痛さ等に関する事

内容

2 前庭感覚(バランス)、固有感覚(体の知覚)の問題はありますか (ある・ない)

例：座るとき体を傾ける、一定時間姿勢の保持ができない、体の動かし方がぎこちない、不器用である、動作が鈍い、新しい姿勢に抵抗がある、ブランコを揺らし続ける、トランポリンで跳ね続ける、くるくる回る、動きを始めたたり止めたりすることが苦手、道具をうまく使えない、人との距離をうまく取れない、前に人がいてもよけられない等、運動や位置関係に関する事

内容

3 視覚(見る)の問題はありますか (ある・ない)

例：光るものが好きでじっと見ている、換気扇や車輪がまわる様子や排水の渦をずっと見ている、文字の形が取れない(雑に書く)、読めない(文字を飛ばす)、必要なものを見つけ出せない、蛍光灯の光がちらつく、、必要なものに注意を向けることが難しい、視界に入っているはずなのに無視する、ひもが揺れるのを見る等色、濃淡、線、形、姿、動体視力等に関する事

内容

4 聴覚(聞く)の問題はありますか (ある・ない)

例：特定の音が嫌い、特定の音が好き、騒音の中では集中できない、小さな音でも注意がそれる、聞こえていないような様子を見せる、犬の鳴き声が聞こえると座り込んで動けなくなる、特定の音が嫌で声を出したり耳をふさいだりして音を打ち消そうとする、周りの人には気にならない音に過敏に反応する等、音の大小、高低、近い遠い等に関する事

内容

5 味覚(味わう)の問題はありますか

(ある・ない)

例：偏食がある、調味料をたくさんかける(濃い味を好む)、特定の食べ物を好む(嫌う)、吐きそうになる等甘さ、辛さ、塩辛さ、苦さ、酸っぱさ、口腔感覚に関すること

内容

6 嗅覚(においをかぐ)の問題はありますか

(ある・ない)

例：特に敏感な匂いがある(好き嫌い)、匂いが苦手でそこにいられない、物に対して匂いをかぐことで落ち着く、揚げ物の匂いが嫌い等、匂いに関すること

内容

【その他感覚の過敏や鈍麻について気になることがあれば、自由にお書きください。】

* お子さんの性格についてお書きください。

自分からみて ()

保護者からみて ()

お子さんの長所についてお書きください。

自分からみて ()

保護者からみて ()

お子さんの短所についてお書きください

自分からみて ()

保護者からみて ()

* 現在までに、利用したことのある公的制度、福祉サービスに○をつけてください。

療育手帳 ()、 精神保健福祉手帳 ()、 身体障害者手帳 ()

特別児童扶養手当 ()、 障害児福祉手当 ()、 自立支援医療 ()

ショートステイ ()、 日中一時支援 ()、 ヘルパーの利用 ()

その他

ADHD 評価スケール: 家庭版

子どもの名前 _____ 性別: 男 女 年齢 _____ 学年 _____

記入者: 母親 _____ 父親 _____ 後見人 _____ 祖父母 _____

過去6ヶ月における子どもの家庭での行動を最もよく表している番号を○で囲んでください。

	ない もしくは ほとんどない	ときどき ある	しばしば ある	非常に しばしば ある
1. 学業において、綿密に注意することができない、または不注意な間違いをする。	0	1	2	3
2. 手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	0	1	2	3
3. 課題または遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。	0	1	2	3
4. 教室や、その他、座っていることを要求される状況で席を離れる。	0	1	2	3
5. 直接話しかけられたときに聞いていないように見える。	0	1	2	3
6. 不適切な状況で、余計に走り回ったり高い所へ上ったりする。	0	1	2	3
7. 指示に従えず、課題や任務をやり遂げることができない。	0	1	2	3
8. 静かに遊んだり余暇活動につくことができない。	0	1	2	3
9. 課題や活動を順序立てることが難しい。	0	1	2	3
10. 「じっとしていない」、またはまるで「エンジンで動かされているように」行動する。	0	1	2	3
11. (学業や宿題のような) 精神的努力の持続を要する課題を避ける。	0	1	2	3
12. しゃべりすぎる。	0	1	2	3
13. 課題や活動に必要なものをなくしてしまう。	0	1	2	3
14. 質問が終わる前に出し抜けに答え始めてしまう。	0	1	2	3
15. 気が散りやすい。	0	1	2	3
16. 順番を待つことが難しい。	0	1	2	3
17. 日々の活動で忘れっぽい。	0	1	2	3
18. 他人を妨害したり、邪魔をする。	0	1	2	3

ADHD Rating Scale-IV: Checklists, Norms, and Clinical interpretation by George J. DuPaul, Thomas J. Power, Arthur D. Anastopoulos, and Robert Reid. Copyright 1998 by the authors.

「ADHD評価スケール」の個人的な使用のみを目的とする購入者には、本スケールの複写が許諾されます。

ADHDの基準は許可を得てDSM-IVから引用しています。Copyright 1994 by the American Psychiatric Association.